

授業概要

算数科の指導において、背景として必要な数学的素養と問題解決力を高め、正しい数学的な概念に基づいて指導できるようになることを目的に講義を行う。取り扱う内容は、小学校算数科の授業内容の中の「数と式」「量と測定」「図形」「数量関係」である。単に「計算ができる」「問題がとける」ようになるだけでなく、子ども達に理解させるにはどのような説明の仕方があるか、どのように指導すればよいかを考えさせる講義を行う。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 授業の方法や進め方 整数加減乗除
第 2 回	小数加減乗除
第 3 回	分数加減乗除
第 4 回	混合計算・工夫
第 5 回	文章題①（和差算、平均算）
第 6 回	文章題②（差分算、差集算）
第 7 回	文章題③（過不足算、つるかめ算）
第 8 回	文章題④（仕事算、相当算）
第 9 回	文章題⑤（濃度）
第 10 回	文章題⑥（旅人算）
第 11 回	文章題⑦（時計算、年齢算）
第 12 回	記数法
第 13 回	小数の意味と小数のかけ算に関する指導
第 14 回	除法の意味と小数の割り算に関する指導
第 15 回	分数のかけ算と割り算に関する指導
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 文章題の問題解決に図を活用できる。
- 記数法や進法を理解し、他者に説明できる。
- 小数や分数の意味や計算の仕組みを正しく理解し、他者に説明できる。

履修上の注意

- 不明な点は積極的に質問する。
- 小学校で算数を指導するものとして恥ずかしくないような力をつけるとの思いで受講する。
- 指導者としての立場で受講する。

予習復習

予習：指定された文章題を解き、説明できるようにする。

復習：授業で使用した問題、教科書の問題、テスト問題の直しをする。

評価方法

小テスト（30%）、提出物（20%）、定期試験（50%）の結果をもとに評価する。

テキスト

- | | |
|------------------|-------------------|
| • 教科書名：『わかる算数教室』 | • 教科書名：『図解 算数文章題』 |
| • 著者名：河崎雅人 | • 著者名：河崎雅人 |
| • 出版社名：協同出版 | • 出版社名：青山社 |